

メッセージアニメをつくるプロセス

A) メッセージアニメで、アニメで表現する部分を決める

<p>① プロット(あらすじ)のすべてをアニメで表現する。 【はしまり・問題提起(もんだいていき)】 ↓ 【展開・探求(てんかい)・(たんきゆう)】 ↓ 【おわり・提案や決意(ていあん)(けつい)】</p>	<p>メリット アニメ制作に集中できる。</p> <p>デメリット 制作の時間がかかる。 技術力が必要かも。</p>
<p>② 「伝えたいコト」を選んで、そこだけをアニメで表現する。 そのほかの部分はスライド(静止画、文章など)で見せながら、補足の説明を口頭でおこなう。 a) 【展開・探求】だけをアニメで表現する。 b) 【おわり・対策】だけをアニメで表現する。 c) 【はしまり・問題提起】【展開・探求】【おわり・提案や決意】の中で、注目してほしいところだけをアニメで表現する。</p>	<p>メリット 伝えたいコトに注目を集める。 制作の時間を短くできる。</p> <p>デメリット スライドなどの資料をつくる。</p>

B) 視点(メッセージをつたえるひと)、主人公を決める

- ① 私(わたし) = 安藤さん
- ② 物質(対象物) = わさび、アリルイソチオシアネート、など
- ③ 第三者 = ナレーター

C) 伝え方を決める — 物語(ストーリー)のあるアニメ、印象的あるいは抽象的なアニメ

- ① 物語(ストーリー)のあるアニメなら、はじめ→展開→おわりの流れを決める。
- ② 印象的／抽象的なアニメなら、メッセージを印象、心証(しんしょう)、抽象的に置き換えて表現する。
- ③ 物語の中に、印象的／抽象的な表現を入れる。

参考例(さんこうれい)

2023年 第45回「全日本中学生水の作文コンクール」入賞作文集

<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/content/001631182.pdf>

2023年 第45回「全日本中学生水の作文コンクール」(国土交通省)

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000010.html

「わさびになりたい」

2023年 第45回「全日本中学生水の作文コンクール」 内閣総理大臣賞(最優秀賞)



群馬県 群馬大学共同教育学部附属中学校
三年 安藤 周平

https://www.youtube.com/watch?v=tTjCHVn0R_8



BuNa

<https://buna.info/article/4226/>



三好アグリテック

<https://www.miyoshi-agri.co.jp/list/wasabi-cv-list/>



わさびラボ

<https://www.wasa-lab.com/knowledge/421/>

写真は参考です。写真を借りたサイトを記載しています。

作文「わさびになりたい」

【はしまり・問題提起】	キーワード
<p>私は、寿司(すし)が大好きだ。寿司に欠かせないのが、ツーンと鼻に抜けるわさびの辛さだ。わさびは不思議に満ちた植物だ。私は、わさび好きが高じて、わさびを自分で育ててみようと考え、わさびの苗を買ったことがある。説明書の指示に従って水槽に水をはり、土を入れ、わさびを植えた。しかし、数日もすると葉が垂れ下がり、ついには枯れてしまった。その後も、水換えをしたり土の質を変えたりしながら、何度もわさびの水耕栽培にチャレンジしたが、最長でも二か月程度しかもたず、わさび栽培は失敗に終わった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 寿司(すし)が好き。 ▪ わさびが好き。 ▪ わさびをもっと知りたい。 ▪ わさびを育てた(栽培した)。 ▪ 栽培に失敗した。
<p>どうしてうまく育たないのか。調べた結果、溜まり水でわさびが育たないのは、わさびの根から、種子発芽や微生物の生育を阻害する物質が放出されているためだということが分かった。わさびが放出するアリルイソチオシアネートという物質は、あらゆる植物の成長を妨げる。他の植物だけでなく、なんとわさび自身をも枯らしてしまう。わさびは、自らが作り出す物質で、生命線である水を汚してしまう。いわば自滅する性質を持っているのだ。だからわさびは流水でないと育てるのが難しい。なんと不思議な植物だろう。わさびに対する私の関心はますます高まった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 栽培失敗の原因を調べた。 ▪ わさびの根から出る、成長をじゃまする物質。 ▪ アリルイソチオシアネート。 ▪ わさびは流水(りゅうすい、常に流れている、きれいな水)でないと育たない。 ▪ わさびへの関心。
<p>【展開・探求】</p>	
<p>わさびの成長する姿を見たくて、私は今年の夏、久しぶりの外出先に長野県にあるわさび農場を選んだ。そこでは、見渡す限りの大きなわさび田に、数千株はあろうかというわさびが整然と植え付けられていた。わさび田には、隣を流れる清流から引き込んだ水が、わさびの間を縫うように流れていた。その水は宝石のように光りながら豊かに流れており、橋の上から見ても、水底の石の粒がはっきり見えるほど澄んでいて、足を浸してもよいコーナーがあったので、わさびになった気持ちで足を入れてみた。真夏の火照った身体が冷やされて気持ちいいと感じたのは最初だけで、一分もしないうちに冷たさで指先が痛くなり、足を抜いてしまった。これがわさびを育む水なのだと思えて体験した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 長野県のわさび農場(わさび田)に行った。 ▪ わさび田と清流(澄んだ、冷たい水)。 ▪ わさびを育てる水。
<p>なるほど、これだけ大量の美しい水が流れていれば、アリルイソチオシアネートもあつという間に押し流され、わさびを枯らすことはないだろう。しかし、流れた先には水田がある。下流で稲が育たなくなるなど水質汚染の問題が発生しないのはなぜだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水が成長阻害物質<small>せいちようそがいぶつしつ</small>を流す。 ▪ 新たな疑問: 下流の水田に水質汚染がない。なぜか？
<p>この問題はすぐに解決した。アリルイソチオシアネートは比較的短時間で揮発してしまうのだ。わさびを食べたときのツーンとした感じが長く続かないのはそのためだ。わさびの毒素はすぐに揮発してなくなるから、下流の植物への影響はなく、水質汚染の問題は生じないのだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アリルイソチオシアネートは短時間で消える。 ▪ 下流に水質汚染はない。
<p>【おわり・提案や決意】</p>	
<p>一方、私たち人間はどうだろう。これまでの歴史を振り返ると、産業発展のため、人間は様々な物質を作り出し、水を汚染した。河川に有毒物質が流入し、日本各地で公害が発生した。現在でも、原発の汚染水の問題を抱える。私たち人間は、自分で作り出したもので大切な水を汚している。生きている以上、周りの環境に影響を与えてしまうことは避けられない。だからこそ、汚してしまった「その後」まで考えることが不可欠だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 産業発展、有毒物質を河川に流す、日本各地の公害。 ▪ 原発(原子力発電所)の汚染水。 ▪ 人間の活動が環境に影響。 ▪ 汚した「その後」を考えねばならない。
<p>私も、わさびのように生きられないか。私たちには、水資源を守り安全な水を次の世代に引き継ぐ責務がある。生きるために作り出してしまった有害物質を無害にして自然に戻すにはどうしたらよいか。困難な課題だが、私たちの世代がなんとかして解決しなければならない。新興国では経済発展とともに、環境汚染、水質汚染が叫ばれている。すでに公害を経験した歴史を持つからこそ、私たちが先頭に立ち水を守らなければならない。私はわさびになりたい。わさびのツーンとした辛みを感じながら、私はその決意を新たにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 有害物質を無害にして自然に戻す。 ▪ 環境汚染、水質汚染をした歴史を持つ。 ▪ 水資源を守る、次世代に引き継ぐ。 ▪ わさびのように生きる。